

1 月号 クラスだより



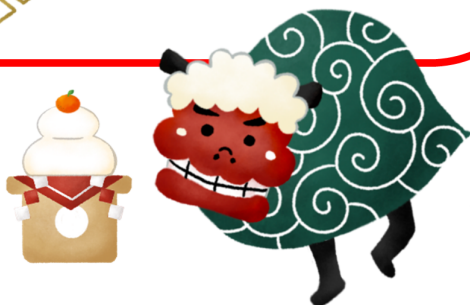
ひよこ組

1月のねらい

- ・保育者に見守られながら、意欲的に自分で食べる。
- ・保育者と簡単な言葉のやりとりを楽しむ。

<スプーンを使ってみたい！>

この時期は大人やお友だちが使っているものに興味を持ち、触ったり掴んだりして“これは何だろう”“どうやって使うのかな”と確かめる時期です。食事の時には保育者の介助スプーンに興味が出てきたこどもたち。H 君、K ちゃんは意欲的に自分で食べていて、「上手に食べたね！」と褒めると得意げな顔をしてほとんど 1 人で食べ進めることができます。S 君、O ちゃん、K 君はスプーンを持ったまま空いている方の手で食べることもあります。S 君、O ちゃんは「ご飯はスプーンで食べよう」「ぎゅって持つよ」と分かりやすい言葉で伝えるとスプーンの使用を思い出し使おうとします。S 君、I ちゃんは保育者に介助されるよりも自分で食べたい気持ちが強いようです。そんな時は自分でやりたい気持ちを優先しつつ、さりげなく手伝ったり手を添えて一緒にスプーンを口まで運んで食べています。S ちゃんはスプーンよりも“早く食べたい！”とご飯に夢中。手で掴みやすいものを小皿に出しておくとうちに掴んで食べています。M ちゃんは抱っこから椅子に座れるようになり、安定した環境で介助してもらい、大きな口を開けて喜んで食べています。意欲的に食べることを一番にしながら、食事のマナーやスプーンの使い方を教えていきたいと思います。



りす組

1月のねらい

- ・保育者に見守られる中で、靴下や靴の着脱を自分でやってみようとする。
- ・保育者を仲立ちに、言葉のやりとりをしながら友だちと遊ぶ。

<お医者さんごっこ>

毎日、どんどん言葉が増えていくりす組のこどもたちです。遊びの中でも言葉を使って友だちや保育者とやりとりをするような姿が見られるようになってきました。

最近こどもたちが好きなのはお医者さんごっこです。チェーンを聴診器に見立てながら、人形や保育者、友だちのおなかにポンポンと当てて診察をして楽しんでいます。「痛いところはないですか？」「お熱ありますねー！」「口を開けてください」など声を掛けてやりとりをしている姿は本物のお医者さんのようです。診察の後には「これを飲めば大丈夫ですよ」と薬を用意してくれたり、小さなフェルトを絆創膏のように貼ったりしてくれる様子もあります。1 人がお医者さんになり始めると、遊びが広がるように「わたしも！」とチェーンを手に取り、お医者さんごっこがあちこちで始まっていきます。

友だちと一緒に遊ぶ姿が見られるようになってきましたが、言葉がすぐに出ず、おもちゃの取り合いになってしまうこともあります。「貸して」と言えば、すぐに使えるというわけでもありません。「〇〇ちゃんと同じことしたかったんだよね」「今は〇〇ちゃんが使っているんだよね」「使いたい時は貸してって言うんだよ」等と双方の思いをしっかりと受け止め、保育者が言葉を補いながら仲立ちするようにしています。「こうしたかったんだね」と思いを言葉にしながら、やりとりを楽しめたらと思います。



うさぎ組



1月のねらい

- ・ルールのある遊びを楽しむ。(あぶくたった・絵合わせカード)
- ・友だちや保育者と一緒に食べる楽しさを感じながら、様々なメニューを食べてみようとする。

<全部食べたー>

今まで、調理室で一人ひとり盛り付けてもらっていたおかず。苦手なものは減らしたり、残したりしていました。11月より、おかずは大皿にもらい、食べたいもの、食べたい量を聞きながら、目の前で盛り付けるように変えました。すると、「大盛りー」と言うこどもと、「半分にして〜」と言って、みんなそれぞれです。中には、「サラダどうですか？」と聞きに行くと、「いらない・・・」と野菜を嫌がるこどももいます。「そっかぁー、野菜嫌だよねー」と、まずは気持ちを受け止めています。その後、細かく刻まれている野菜一つひとつ聞いています。「このきゅうり小さくてかわいいね。これ1つだけ食べてみるのはどう？」と、再び聞いてみます。すると、(このくらいなら・・・)と気持ちが変わって、少しチャレンジしてみようとし、最後には自分で決めた量をしっかり食べています。”食べられた”という達成感から「全部食べたー」と自信を持ち始め、次の日「もう野菜食べられるんだ♪」と自分から言い、昨日よりも少しずつ量が増えたり、もう1回昨日と同じ量を食べたり・・・と、嬉しい様子が見られました。しかし、その日の体調や気分によって、同じようにはいかないことも。その時は、その気持ちに寄り添い、今食べられるものだけにしたりしています。

また、大人も同じものを食べて見せることで、雰囲気が変わって、(おいしそうだな・・・)と思って食べるようになったりすることもあります。こどもたちの様子を見て、「食べなさい」ではなく、大人も「一緒に食べよう」と一緒に食卓を囲むことで、食事時間も楽しく過ごせたらいいなと思っています。



ちゅうりっぷ組



1月のねらい

- ・食器を支える等、食事のマナーを意識して食べる。
- ・ふくわらいや凧などの伝承あそびに興味をもち、遊ぶ。

<いらっしゃいませ〜>

お店屋さんになりきって遊ぶことが好きなこどもたち。最近では自分で制作したものを使ってなりきる姿がでてきました。広告紙を切って袋に入れてみたり、折り紙でジュースなどを作ってみたりと、工夫しながら遊んでいます。「いらっしゃいませ〜」と開店すると「何屋さんですか?」とお客さんが来て、「おすすめはなんですか?」「〇〇はありますか?」と楽しそうなやりとりが聞こえてきます。「ここはタッチしかないので、携帯を出してください」なんて、細かいところまで再現されていて面白いです。

公園でも枝に葉を刺してやきとりにしてみたり、どんぐりや実を使ってごはんを作ったりと自然物を使って遊んでいます。自分が作ったもので遊ぶ楽しさを感じているので、様々な素材を用意するようにして、これからも楽しんでいきたいと思っています。





さくら組

1月のねらい

- ・戸外で全身を思いっきり動かし、みんなで一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- ・衣服の乱れ（前後表裏の間違いなど）に気が付いたり気を付けて着脱する。

<食事の時のマナー>

給食のとき、姿勢について声をかけることがあります。足を前に投げ出して座っている子はどうしてもお尻が椅子の座面からずれてしまうので、“足の裏を床につけて座る”ことを伝えています。また、“食べるお皿は自分のお腹に引き寄せる”“食具を持つ手と反対の手でお皿を押さえて食べる”なども乳児クラスの頃から声をかけています。さくら組も終盤です。口の中へかきこまずスプーンやお箸ですくってから口に入れることや、こぼれたことに気がついたり、こぼさないように食べることもできるようになるといいなと思っています。口うるさいことではありますが、保育園では声をかけ続けていきます。こどもだけの食事では身につかないので、楽しい食事・団らんの中でこどもとコミュニケーションをとりながら伝え続けていくことが大切だと思っています。ご家庭でも意識してみてください。※お箸はうまく使えるようになってきた子から給食でも使い始めています。



もみじ組

1月のねらい

- ・日本の伝統文化やお正月遊びに興味をもち、友だちと楽しみながら挑戦しようとする。
- ・ルールを互いに理解しながらドッジボールを楽しむ。また、ドッジボールを通して、友だちと協力する姿を見て、友だちの良さに気付く。

<ドッジボール>

ある一人の子が『ドッジボールやろうよー！』と誘ってみると…意外と遊びの内容やルールを知っている子が多く、今では毎日のように汗をかきながら園庭で白熱したドッジボールの試合を繰り広げています。最初は『うまくできないから、見てる。』と試合の様子を眺めていた子も今では『いれてー！！』と参加するようになりました。参加人数が増えてきたので、こどもたちだけでチーム決めることが難しい時も。大人の真似をして一列に並んだともだちに『あか、しろ、あか、しろ…』とチーム分けをする様子が見られます。スポーツの試合前と試合終了後には『よろしくお願いします！』と挨拶をすることを知っていた子が居たので（どうぶつしょうぎと同じだね、と気付きもありました。）挨拶をしよう！と真似てみると、それ以降自ら気が付き挨拶していることもあります。

まだ、できた・できないや勝ち負けに涙してしまうこともあります。こどもたちなりにボールの投げ方やキャッチの仕方、ボールのよけ方や逃げ方を教え合っているようです。これからもっと試合が白熱していくことを想像すると、楽しみです。

もみじぐみは、いよいよ残り三か月の保育園生活となりました。就学を楽しみにしている姿が、嬉しいような寂しいような気持ちになります。

長い年末年始のお休みが終わり体調を崩しやすくなる時期でもありますが、体調管理にもより一層配慮しながら一日いちにちを大切に過ごしていきたいと思います。

